

「新千歳空港の24時間運用」等に係る主な経緯（H27.12.1現在）

年月	事項	内容
S 60. 2	2次長計骨子案	北海道新長期計画（2次長計）骨子案 → 24時間運用の国際エアカーゴ基地構想を戦略プロジェクトとして盛り込む ・ 空港周辺の住民を対象に、国際エアカーゴ基地構想の説明開始
S 62. 8	地域住民への説明	・ 北海道新長期総合計画スタート（～H9）
S 63. 4	2次長計スタート	→ 戦略プロジェクトの一つとして「国際エアカーゴ基地」構想 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>《国際エアカーゴ基地構想》 新千歳空港を、新東京国際空港の機能を補完する国際航空貨物の拠点空港として位置づけ、日本の北の国際物流拠点をめざす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 国際貨物定期便の確保 ◆ 航空輸送需要の創出 ◆ 国際エアカーゴ基地の条件整備 <p>・ 24時間運用体制の整備 ・ C I Q体制の拡充 など</p> </div>
6枠合意まで		
H2. 2 ～2. 3	地域協議会の設立	・ 新千歳空港の24時間運用を巡る道及び市、関係町内会代表による協議の場として、千歳市側、苫小牧市側それぞれに地域協議会を設立。 千歳市地域協議会 H2. 2. 17 (構成：関係町内会代表25人、千歳市、北海道) 苫小牧市地域協議会 H2. 3. 24 (構成：関係町内会代表21人、苫小牧市、北海道)
H3. 9	対策案の提示	・ 24時間運用対策案を提示（住宅防音対策・地域振興対策）
H5. 3 H5. 7	テストフライトの実施	・ 冬季の深夜・早朝におけるテストフライト ・ 夏期の深夜・早朝におけるテストフライト
H5. 11	対策案の再提示	・ 24時間運用対策案を提示（住宅防音対策・地域振興対策）
H6. 3	基本合意	千歳:H6. 3. 11、苫小牧:H6. 3. 1
H6. 4	合意書の調印	・ 「国際エアカーゴ基地形成のための新千歳空港の24時間運用に関する合意書及び確認事項」 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 深夜・早朝の時間帯において、22時から翌7時まで国際貨物便等が6回／日を限度に離着陸できるものとする。 ・ 国際貨物便等とは、国際・国内の定期又は不定期の貨物の運輸を行う航空機とし、テクラン・訓練飛行は含まない。 </div> 千歳:H6.4.20、苫小牧:H6.4.21
6枠弾力化(KLMの追加)合意まで		
H8. 11	K L M追加の提案	・ 国際旅客便（K L Mオランダ航空）の深夜・早朝時間帯の使用について
H9. 5	覚書の調印	「深夜・早朝の時間帯における航空機の離着陸に関する覚書」 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>深夜・早朝の6回の範囲内にK L Mオランダ航空を加える。</p> </div> 千歳：H9. 5. 1、苫小牧：H9. 5. 6
H9. 10	K L M就航	・ 「名古屋～新千歳～アムステルダム線」就航（H14. 2. 1運休）

年月	事項	内容
6枠弾力化(国際・国内旅客便の追加)合意まで		
H10. 5	国際・国内旅客便追加の提案	・ 国際・国内旅客便の深夜・早朝時間帯の使用について
H10. 6	覚書の調印	・ 「深夜・早朝の時間帯における航空機の離着陸に関する覚書」 6回の範囲内に国際・国内旅客便を加える。 千歳:H10. 6. 1、苫小牧:H10. 6. 9
H10. 7	国内定期旅客便の就航	・ A N Aが深夜貨物便を初就航(H10. 7. 17) (羽田21:00発→新千歳22:30着)
滑走路延長の合意・白紙撤回		
H10. 7	滑走路延長の住民説明	・ 苫小牧市関係地域住民に対する滑走路延長に関する説明を開始
H13. 8	協議開始	・ 滑走路延長に係る住民との協議が正式スタート ・ 地元対策案を提示
H13. 11	滑走路延長合意書の調印	「新千歳空港の滑走路延長に関する合意書及び確認事項」 新千歳空港の滑走路を苫小牧市側へ500m延長することに伴う周辺地域対策について合意 苫小牧 H13. 11. 18
H15. 7	第2ターミナルビルへの対応	第28回 苫小牧市地域協議会 第2ターミナルビルの苫小牧市内建設について、「地域と空港の共生に向けての現在の考え方」により、知事の考え方を説明。
H15. 10	白紙撤回	滑走路延長に合意した苫小牧市町内会等の代表者の連名により、知事及び苫小牧市長に対し、「新千歳空港滑走路延長に関する合意事項すべてを白紙撤回する」ことに合意した旨の文書の提出。
H15. 11	国内定期貨物便の就航	・ A N Aが深夜貨物便を初就航(H15. 11. 5) 〔 羽 田01:05発→新千歳02:45着 〕 〔 新千歳01:30発→羽 田03:10着 〕 ※ H15年11月以降、発着枠拡大前の6枠が全て利用される状況が続く。 (国内貨物便～2枠、国内旅客便～4枠)
H18. 11	関係者会議の設置	・ 新千歳空港の利活用に係る関係者会議の設置 (ギャラクシーエアラインズの就航希望に伴うダイヤの調整状況について)
H19. 4	国内定期貨物便の就航	・ ギャラクシーエアラインズの深夜貨物定期便が就航 〔 関 西22:45発→新千歳00:35着 〕 〔 新千歳02:20発→羽 田03:50着 〕 ※ H19年4月以降、国内貨物便～4枠、国内旅客便～2枠
H19. 11	第2回関係者会議	・ 第2回新千歳空港の利活用に係る関係者会議の開催 (新千歳空港の需要動向等についてエアラインから聴取)
H20. 10	国内定期貨物便の撤退	・ ギャラクシーエアラインズが深夜貨物便を廃止

年月	事項	内容
H20.11	国内定期旅客便の就航	・ANA、JAL再参入 ※ H20年11月以降、国内貨物便～2枠、国内旅客便～4枠
深夜・早期時間帯の発着枠の拡大		
H21.5	三者(道・千歳市・苫小牧市)会談	枠拡大に関する道の考え方を千歳市、苫小牧市に伝え、今後地元との協議に関して連携・協力していくことを確認。
H21.6	協議開始	今後、深夜・早期時間帯発着枠の拡大について協議したい旨地域に説明。 (千歳：H21.6.6 苫小牧：H21.6.3)
H21.7	新千歳空港24時間運用対策推進会議	枠拡大に伴う地域振興策などを検討することを目的に、庁内関係部で構成する「新千歳空港24時間運用対策推進会議」を設置。(～H27.6)
H21.8～22.1	経済波及効果調査	経済界と連携して、枠拡大による需要喚起策の検討や将来予測、経済効果分析などの調査を実施。
H21.8～21.9	地域協議会	深夜・早期時間帯の発着枠拡大及び航空機騒音予測コンター作成の考え方などについて協議。
H21.10～22.3	航空機騒音予測コンター調査	発着枠拡大に伴う騒音影響の状況把握と住宅防音対策の検討に必要な「航空機騒音予測コンター調査」を実施。
H22.3	地域協議会	必要な発着枠数や住宅防音対策、地域振興対策の検討状況について説明。
H22.10	深夜便の一部運休	JAL中部→新千歳便が10月1日より運休 ※ 10月31日からADO仙台→新千歳便が利用 ANA深夜貨物便が10月31日より一部運休(土、日、祝祭日の翌日運航便)
	三者(道・千歳市・苫小牧市)会談	H25年を目途に、航空情勢を見極めた上で、「必要枠数」「住宅防音対策」「地域振興対策」を具体的に提案することについて、3者で確認。
H22.11	基本方針の策定	枠拡大に向けて、その目指す姿や今後の進め方などに係る道の基本的な考え方を整理した「新千歳空港における24時間運用拡大に向けた基本方針」を策定。 《提案目途》 平成25年度 《目標枠数》 20枠程度
	地域協議会	・ 必要な発着枠数の検討状況や最近の航空情勢等について説明 ・ 「新千歳空港における24時間運用拡大に向けた基本方針」を説明
H23.4	《知事公約》 時差のある海外との交流に欠かせない航空機の深夜等の発着が可能となるよう、新千歳空港の深夜・早期発着枠を20まで拡大。	
H23.5	地域協議会	・ 当面の取組状況などを説明 ・ (財)新千歳空港周辺環境整備財団のあり方を協議し、合意。 《合意事項》 ○「公益財団法人」への移行を目指す。 ○基金運用益を平成22年度からの財源(派遣職員(3名以内)分人件費)不足額に充当する。
H24.2	地域協議会	・ 枠拡大の提案に向けた取組状況を説明 ・ (財)新千歳空港周辺環境整備財団の「公益財団法人」移行見込みを報告(移行予定日:H24.4.1)
H24.3 H24.11	講演会の開催	枠拡大に向けた気運醸成のため、「新千歳空港の国際拠点空港化を目指して」と題し、千歳市内と札幌市内において講演会を開催。

年月	事項	内容
H24. 3 ~25. 3	住宅防音対策の検討	「効果的・効率的な住宅防音対策有識者検討会」(委員6名)を設置し、最近の住宅の遮音性能や気密性を踏まえた効果的・効率的な住宅防音対策とするための手法や遮音性能の把握方法等を検討。
H24. 7 ~24. 12	利用者需要・交通アクセスの調査	<ul style="list-style-type: none"> 新千歳空港利用者や道内事業所を対象に、深夜・早朝時間帯発着旅客便の利用意向についてアンケート調査を実施。 枠拡大による旅客便の就航に伴って必要となる交通アクセスについて、その態様や課題などを調査。
H24. 9 H24. 11 ~25. 3	騒音実態の調査	<ul style="list-style-type: none"> 「効果的・効率的な住宅防音対策有識者検討会」の議論を踏まえ、住宅の遮音性能や実測方法の検証を行うため、遮音性能などを実測調査。 調査サンプル数の増を目的に、追加調査。
H24. 12	地域協議会	<ul style="list-style-type: none"> 枠拡大の提案に向けた取組状況を説明。 (具体的な枠拡大の提案時期は、平成25年度後半と説明)
H25. 1 ~25. 3	航空機騒音予測コンター調査	<ul style="list-style-type: none"> 発着枠拡大に伴う騒音影響の状況把握と住宅防音対策の検討に必要な「航空機騒音予測コンター調査」を実施。
H25. 3	地域協議会	<ul style="list-style-type: none"> 枠拡大の提案に向けた取組状況を説明。 枠拡大の提案に向けた基本的な考え方(必用枠数、住宅防音対策、地域振興対策)について説明。
H25. 4 ~25. 5	航空会社の就航ニーズ調査	枠拡大の提案に向け、本格的な24時間運用に必要な枠数に関して、航空会社の就航ニーズを把握するためのアンケート調査を実施。
H25. 5 H25. 8	交通アクセス等の調査	枠拡大時の旅客便の円滑な運航に向け、深夜・早朝時間帯の運休枠を活用した、交通アクセス等の課題を検証するための実証運航を実施。利用者対象のアンケート調査や、関係機関等へのヒアリングを行った。
H25. 12 H26. 2	地域協議会	<p>枠拡大に向け、道の考えを地域に対して具体的に提案。 (千歳：H25. 12. 14、苫小牧：H26. 2. 19)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 必要枠数は30枠 枠拡大に伴い必要となる住宅防音対策案 </div>
H26. 1	講演会の開催	枠拡大に向けた気運醸成のため、「新千歳空港の国際拠点空港化を目指して」と題し、札幌市内において講演会を開催。
H26. 3 H26. 5	地域住民からの意見提出	<ul style="list-style-type: none"> 「深夜・早朝時間帯の離着陸回数の変更に係る協議に対する意見書」(千歳市地域協議会 町内会委員、H26. 3. 28) 「深夜・早朝時間帯の離着陸回数の変更に係る協議に関する懸念事項等集約書」(苫小牧市地域協議会 地域委員、H26. 5. 16)
H26. 8	地域協議会	枠拡大に係る住宅防音対策の修正案を提案。
H26. 11	知事と地域住民との懇談	<ul style="list-style-type: none"> 「知事と千歳市地域協議会委員との懇談」(H26.11.29 千歳市) 「知事と苫小牧市地域協議会世話人会等との懇談」(H26. 11. 29 苫小牧市)
H26. 12	地域協議会	<ul style="list-style-type: none"> 枠拡大に係る住宅防音対策の再修正案を提案(地域は一定の理解)。 苫小牧市地域協議会に、枠拡大に係る地域振興対策案を提案(地域は一定の理解)。
H27. 1 ~27. 2	地域への説明会	千歳市及び苫小牧市において、地域住民対象の枠拡大に関する説明会を開催。
H27. 2	地域協議会(苫小牧)	〈苫小牧〉道からの発着枠拡大の提案について基本合意。(H27. 2. 18)

年月	事項	内容
H27.3	講演会の開催	枠拡大に向けた気運醸成のため、「新千歳空港の国際拠点空港化を目指して」と題し、札幌市内において講演会を開催。
	調印式（苫小牧）	「新千歳空港の24時間運用拡大に関する調印式」を開催。（H27.3.19） 「深夜・早朝の時間帯における航空機の離着陸回数の変更に関する覚書」を締結。
H27.8	地域協議会（千歳） 調印式（千歳）	・住宅防音対策の補完案、地域振興対策案を提案。 （千歳）道からの発着枠拡大の提案について基本合意。（H27.8.22） ・「新千歳空港の24時間運用拡大に関する調印式」を開催。（協議会と同日） 「深夜・早朝の時間帯における航空機の離着陸回数の変更に関する覚書」「確認事項」を締結。
	地域協議会（苫小牧）	住宅防音対策の補完案、合意文書案（確認事項）を提案し、合意される。
H27.10	枠拡大の運用開始	国は、地域の合意を受け、 新千歳空港の深夜・早朝時間帯の発着枠を30枠に拡大。（H27.10.15）
H27.11	枠拡大後第1便の就航	深夜・早朝時間帯の発着枠拡大後の第1便※となる臨時便（運航日H27.11.20、ADO運航、新千歳23:10→羽田25:00・羽田21:30→新千歳23:05）が運航される。 ※既存の深夜・早朝時間帯発着枠（6枠）に係る便を除く第1便